

科目名： 経済入門

履修年度： 2022 学期： 後期

開講曜日時限： 火5

担当教員： 武田 勝

配当年次： 1年次のみ

履修条件・関連科目等

とくになし

授業で使用する言語

- ✓ 日本語
- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 中国語
- その他

授業で使用する言語(その他の言語名)

授業の概要

<学位授与方針と当該授業科目の関連>

この科目は、現実把握力（経済学の専門知識及び社会・人文・自然科学の知識教養に裏付けられた広い視野に立った柔軟な知性に基づき、現実の経済現象を的確に把握することができる）の修得に関わる科目です。

<概要>

テーマ： 日本経済入門

この講義では、経済学部1年生の皆さんが現実に行っている経済問題を考えるために必要な知識や考え方を提供するようにしたいと思います。できるだけ身近で具体的な話をていねいに解説します。

なお、この講義では、テキストの他に、ビデオや新聞の切り抜きを教材として用いる予定です。時事的な問題についても、適宜、解説を加える予定です。

科目目的

経済学を学ぶための問題意識を高めること
経済学の基本的な考え方、用語等を理解すること

到達目標

経済学を学ぶための問題意識を高めること⇒どのような経済（学）的問題があるのかを理解できるようになる
経済学の基本的な考え方、用語等を理解すること⇒物事を経済学的な考え方や用語を用いて説明できるようになる

授業計画と内容

- 1、イントロダクション：経済学を学ぶために
- 2、経済学的想像力を鍛える
- 3、人類の発展と経済社会（1）：人口の長期的変動と経済発展
- 4、人類の発展と経済社会（2）：市場経済のしくみ
- 5、資本主義の成立と経済学の歴史
- 6、戦後日本経済の歩み
- 7、働く人からみた日本経済
- 8、企業からみた日本経済
- 9、格差問題について考える
- 10、貿易・国際金融からみた日本経済
- 11、財政の役割としくみ
- 12、国の借金について考える
- 13、社会保障の役割としくみ
- 14、金融の役割としくみ

（以上の計画に基づいて講義を行う予定ですが、履修者の状況等（たとえば、高校までの政治・経済に関する知識や受講態度によって、講義の内容や進捗、グループディスカッション等の予定時間が変わり得ます）によって、講義計画が大幅に変わり得ることをあらかじめ了解の上、履修してください（シラバスの消化を優先するのではなく、受講者の学びを優先します＝学修者本位の教育）。

授業時間外の学修の内容

- ✓ 指定したテキストやレジメを事前に読み込むこと
- ✓ 授業終了後の課題提出
- その他

授業時間外の学修の内容(その他の内容等)

テキストを読んで授業に参加すること。該当箇所は事前に指定します。
毎回、簡単な授業内容の振り返りを求めます。

授業時間外の学修に必要な時間数/週

- ・毎週1回の授業が半期（前期または後期）または通年で完結するもの。1週間あたり4時間の学修を基本とします。
- ・毎週2回の授業が半期（前期または後期）で完結するもの。1週間あたり8時間の学修を基本とします。

成績評価の方法・基準

中間試験	%
期末試験（到達度確認）	40% 持込自由の論述式
レポート	%
平常点	60%
その他	1) 毎回の講義内容の振り返りの提出状況・内容を評価 2) 授業中のリアクションペーパーやresponの提出状況・内容を評価

成績評価の方法・基準(備考)

平常点（60%）と期末試験（40%）で評価します。
平常点は、毎回の授業の振り返りを行うものです。また、授業中のリアクションペーパーやresponの提出状況・内容を評価します。
期末試験は、持込自由の論述式で行います。

なお、初回ガイダンスにて、評価基準表（ルーブリック）を公表します。

課題や試験のフィードバック方法

- ✓ 授業時間内で講評・解説の時間を設ける
授業時間に限らず、manabaでフィードバックを行う
その他

課題や試験のフィードバック方法(その他)

提出された課題に対しては、課題に応じて、全体的なフィードバックや個別でのフィードバックを行う。

アクティブ・ラーニングの実施内容

- PBL（課題解決型学習）
反転授業（教室の中で行う授業学習と課題などの授業外学習を入れ替えた学習形式）
- ✓ ディスカッション、ディベート
- ✓ グループワーク
プレゼンテーション
実習、フィールドワーク
その他
実施しない

アクティブ・ラーニングの実施内容(その他)

授業におけるICTの活用方法

- ✓ クリッカー
タブレット端末
- ✓ その他
実施しない

授業におけるICTの活用方法(その他の内容等)

manaba、responを積極的に活用します。スマホ（やPC、タブレット端末等）を充電の上、持参してください。

実務経験のある教員による授業

- ✓ はい
いいえ

【実務経験有の場合】実務経験の内容

実務経験に関連する授業内容

テキスト・参考文献等

テキスト：八田幸二・佐藤拓也・武田勝（2019）『攻略！！日本経済（改訂二版）』学文社
参考文献：中央大学経済学部編（2017）『高校生からの経済入門』中央大学出版部

オフィスアワー

その他特記事項

この講義は、高校生が履修できる科目等履修生制度の対象講義となりますので、高校生の履修者が同席する可能性があります（2021年度武田が担当した講義は、86名参加）。
また、特定高校を対象とした遠隔授業も同時に実施する講義（いわゆるハイブリッド型）となっています（2021年度は86名中53名が特定高校とのハイブリッド型参加）。
2021年度は、全員がオンライン参加（いわゆるライブ型講義）で、2022年度も社会情勢によっては、そのようになる可能性があります。以上を含んで、履修するようにしてください（同教員が担当する前期科目は、高校生は参加しません）。

参考URL

特にありません

備考

【ここには何も入力しないで下さい】
